



▶ 問い合わせ 〓市民協働推進課 ☎0287(62)7019
市民編集委員/阿久津一志 菊地千恵 鈴木房代 柳場美枝子 和氣喜美子

今回のテーマは「家庭」です

家庭と仕事の両立に奮闘されている山崎さんにインタビュー！



やまざき ゆみこ
山崎 由美子さん 職業 薬剤師
勤務先 ウエルシア薬局(株)西那須野南郷屋店

今の仕事に興味を持ったきっかけは

子どものときに、病院でこの仕事を見て、憧れをもちました。

職場で感じる男女共同参画について教えてください

女性特有の悩みに沿った薬をお渡しするときは、女性薬剤師からの方がいいですね。逆に男性特有の薬の場合には、男性から渡された方が説明も聞きやすいと思います。4人の子どもの育てている母親としての経験も役立ちますし、**薬剤師は女性も男性も同じように必要とされる仕事だと感じています。**

職場では20代から70代まで幅広い年代が働いていますが、**年齢の上下関係はあまり感じません。皆きちんと勉強してきていますので、新人さんに教えてもらうこともたくさんあり、常に情報を共有し知識を高め合うことができます。**また、勤務している職員の年齢が違うことで生活スタイルもそれぞれ異なるため、子どもの学校行事に合わせて休みをとれるようにするなど、普段からお互い協力して働いています。

子育てと仕事の両立について教えてください

4番目の子どもが3歳になってから仕事を再開し、4時間のパートから、子どもの成長に合わせて勤務時間を徐々に長くしてきました。現在は10時から19時まで働いていますが、子どもが全員高校生以上になり、19時に仕事を終えてからでも夕飯の準備が間に合います。**職場が家に近いので、出勤前や昼休みを家事などに有効に使うことができます。**勤務を始めて13年になりますが、ずっと働きたいと思っています。

家では、同居の義父が子どもたちの帰りを待ち、家事も協力してくれて助かっています。家族7人毎日会話が絶えず、仲が良く、お互いに感謝し合っているおかげで、私自身も好きな仕事ができ、充実した日々を笑顔で過ごせていると思います。



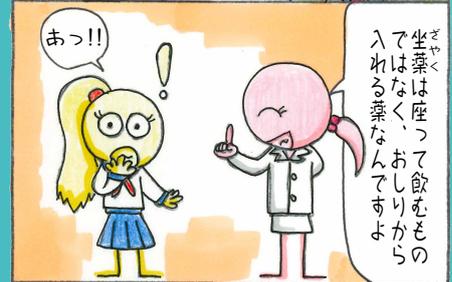
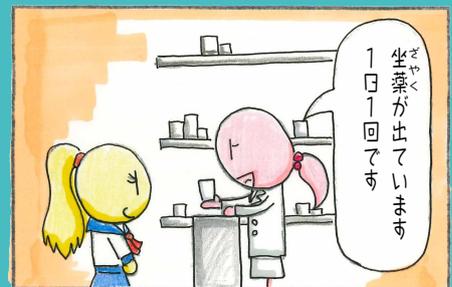
みんなとは？

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合っ
て、その個性と能力を十分に
発揮することができる社会を
目指す情報コーナーです。



バックナンバー
はこちら

「かんちがい」



作:miina 絵:daisuke